

内水防災マップ (内水ハザードマップ)

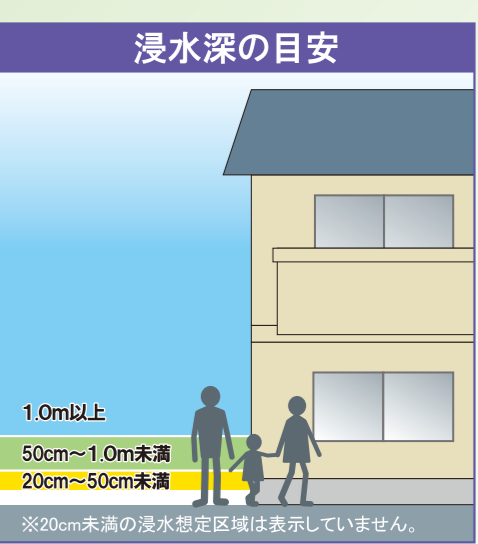
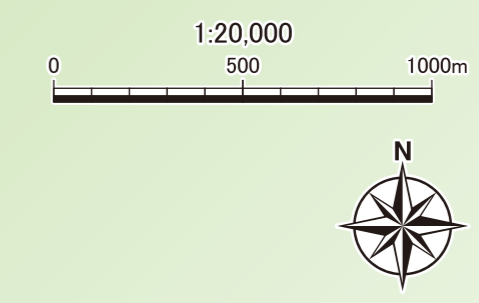
<内水浸水想定区域について>

●この地図に表示している内水浸水想定区域は、平成29年度時点の下水道施設及び土地利用状況を前提条件とし、次に示す3ケースの降雨で生じる内水はん濫の浸水深をシミュレーションにより求めた上で結果の重ね合わせを行い、地域で最も深くなる浸水深を表示したものです。

- 【ケース①】平成29年9月19日～20日(台風19号)に観測された時間最大74.0mm/hの降雨
 - 【ケース②】平成29年10月23日(台風21号)に観測された時間最大34.5mm/hの降雨
 - 【ケース③】本町の下水道(雨水)の目標整備水準に対応する降雨計画降雨50mm/h(5年確率)
- ※浸水深の表示に際しては、平成30年12月時点の造成計画等を考慮しています。

<注意>

- シミュレーションの実施範囲は、巨理町公共下水道計画(雨水)排水区域としています。
- 土地の状況や雨の降り方によっては、想定を超える浸水となったり、想定と異なる場所で浸水が発生したりすることがあります。
- 浸水深20cm未満の色が塗られていない箇所においても道路冠水程度は想定されます。



施設等凡例

- 避難所
- 巨理町役場 ※巨理町役場は、新庁舎完成後、公共ゾーンへ移転します。
- 警察署・駐在所
- 消防署
- 国道
- 主要地方道
- 整備中・整備済の避難路
- 高速道路
- 鉄道

内水浸水想定区域

- 1.0m以上
- 50cm～1.0m未満
- 20cm～50cm未満
- 内水浸水シミュレーション実施範囲

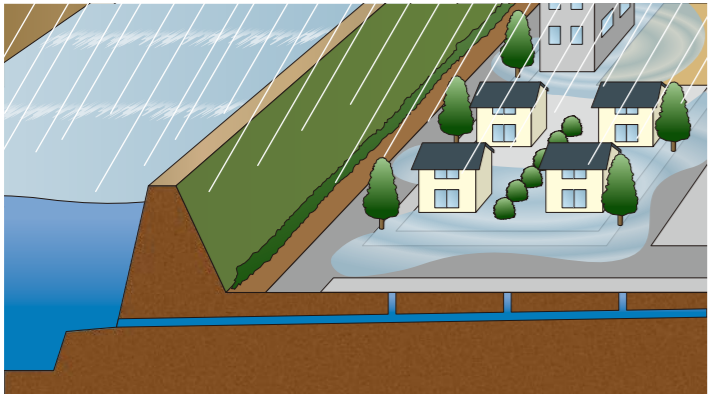
<このマップについて>

- 下水道の雨水排水能力を超える大雨や河川の水位上昇により十分に排水ができずに溢れることを「内水はん濫」と言います。この地図には、内水はん濫によって浸水が想定される区域(内水浸水想定区域)を示しています。
- 河川の洪水「外水はん濫」による浸水想定区域については、別途配布しています「巨理町洪水・土砂災害防災マップ」を確認してください。
- 自分の住んでいる場所などが、どの程度浸水する恐れがあるのかを事前に把握し、浸水への備えを心がけてください。

内水はん濫と外水はん濫

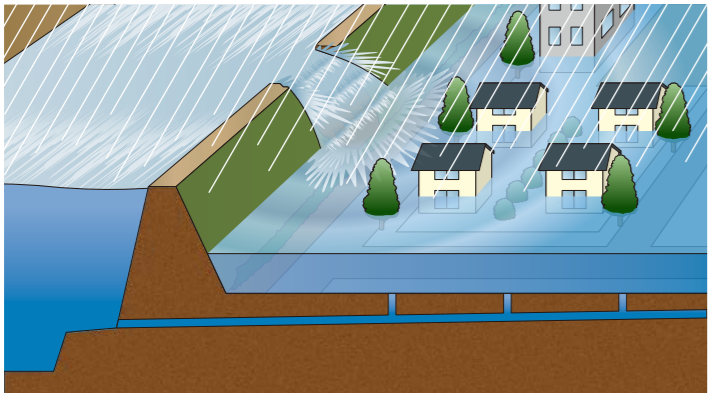
洪水には、降った雨が水路や下水道などで排水しきれなくなるにより起こるはん濫(内水はん濫)と、川の堤防が壊れたり堤防から水が溢れたりして発生するはん濫(外水はん濫)があります。まずは、洪水の発生する仕組みを理解して、避難所まで安全に避難できるよう経路を確認しておきましょう。

内水はん濫



水路や下水道の排水能力を超える大雨が降ったり、河川の水位上昇により十分に排水できなくなると、雨水が溢れ、住宅地や道路などが冠水します。

外水はん濫



長時間雨が激しく降ると、河川の増水により堤防が壊れたり、堤防から水が溢れ出して浸水します。

インターネットなどによる 防災情報の入手先

巨理町の防災情報、雨量や河川水位等の情報は、インターネットなどからも確認することができます。自ら情報を収集し、危険を感じたときには自主的に避難してください。

巨理町
<http://www.town.watari.miyagi.jp/>
●巨理町の防災情報・避難情報の提供。

仙台管区気象台
<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>
●気象に関する警報・注意報を市町村ごとに発表。

宮城県土砂災害警戒メール配信システム
●「大雨警報・注意報」や「土砂災害警戒情報」をメールでお知らせし、土砂災害に対する警戒・避難等に役立てていただくためのシステムです。

携帯メールでの登録方法
配信を希望する携帯電話から、空メールをお送りください。折り返し案内メールが送信されます。
✉ touroku@doshasagai.pref.miyagi.jp

巨理町メール配信サービス(ほっとメール便)
●災害情報・不審者情報などを配信します。

携帯メールでの登録方法
配信を希望する携帯電話から、空メールをお送りください。折り返し登録完了のメールが送信されます。
✉ ansin-watari@wbi.jp

国土交通省 川の防災情報
<http://www.river.go.jp/>
●全国の雨量や水位、洪水予報に関する情報などを提供。

国土交通省 防災情報提供センター
<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/>
●リアルタイム雨量やリアルタイムレーダーなどの観測情報を提供。

町外避難者・在宅避難者について

巨理町内の避難所以外の場所(町外の避難所、自宅等)へ避難された方は、その旨を役場へ連絡し、巨理町メール配信サービス等を活用して、情報を入手してください。

家でできる簡易水防

浸水が浅い場合には、土のう(無い場合は水のう)を設置することで、水が建物へ浸入するのを防げます。簡易的な措置として、植栽用プランターや石油用ポリタンク、長めの板(はしごやテーブルでもOK)などを、ビニールシートで包んで設置してもよいでしょう。道路よりも建物が低い場合や、地下室がある場合などは、止水板を設置しておく、より効果的です。

簡易水防工法例①
プランター + ビニールシート
土を入れたプランターをビニールシートで巻き込んだものを使用し、浸水を防ぎます。

簡易水防工法例②
簡易水のう + 止水板
簡易水のうを作り、長めの板などと組み合わせて出入口に設置し、浸水を防ぎます。

簡易水のうの作り方
家庭で使用しているごみ袋(40リットル程度の容量)を二重にして、中に半分程度の水を入れて閉めます。

水平避難と垂直避難

災害では早めの避難が重要です。ただし、すでに避難経路が浸水しているなど、危険が間近に迫っている状況での無理な避難行動はできるだけ避けなければいけません。そのような場合は、避難所への移動(水平避難)だけでなく、近隣の高い建物や自宅の2階といった高い場所への移動(垂直避難)を行い救助を待つという判断も必要です。



避難所一覧(風水害発生時)

施設名	所在地	電話番号
巨理小学校	字下小路22-2	0223-34-1311
巨理中学校	字沼頭1	0223-34-1400
吉田小学校	吉田字宮前63	0223-34-1817
中央公民館	字旧館61-22	0223-34-3111
佐藤記念体育館	字旧館62-1	0223-34-4251
武道館	字旧館62-1	0223-34-4251
農村創作活動センター	吉田字宮前58-1	-
巨理高等学校体育館	字館南56-2	0223-34-1213